

なめりかわ

No.160

平成22年11月1日発行

滑川市議会

☎ (076) 475-2111

E-mail: gikai@city.
namerikawa.lg.jp

滑川市議会だより



旬 滑川産ベニズワイガニ

平成22年9月定例会一覧

開会		閉会		開会		閉会	
9月6日		9月16日		9月6日		9月16日	
会期11日間		会期11日間		会期11日間		会期11日間	
○本会議（主な内容）		○本会議（主な内容）		○本会議（主な内容）		○本会議（主な内容）	
6日 会期の決定		6日 会期の決定		6日 会期の決定		6日 会期の決定	
提案理由説明		提案理由説明		提案理由説明		提案理由説明	
補足説明		補足説明		補足説明		補足説明	
代表質問・一般質問		代表質問・一般質問		代表質問・一般質問		代表質問・一般質問	
9日 一般質問		9日 一般質問		9日 一般質問		9日 一般質問	
決算特別委員会の設置		決算特別委員会の設置		決算特別委員会の設置		決算特別委員会の設置	
議案の委員会付託		議案の委員会付託		議案の委員会付託		議案の委員会付託	
陳情の委員会付託		陳情の委員会付託		陳情の委員会付託		陳情の委員会付託	
委員報告・討論・採決		委員報告・討論・採決		委員報告・討論・採決		委員報告・討論・採決	
追加提案		追加提案		追加提案		追加提案	
提案理由説明		提案理由説明		提案理由説明		提案理由説明	
教育委員会の委員の任命		教育委員会の委員の任命		教育委員会の委員の任命		教育委員会の委員の任命	
議員提出議案		議員提出議案		議員提出議案		議員提出議案	
提案理由説明・討論・採決		提案理由説明・討論・採決		提案理由説明・討論・採決		提案理由説明・討論・採決	
議員派遣		議員派遣		議員派遣		議員派遣	
決算特別委員会の選任		決算特別委員会の選任		決算特別委員会の選任		決算特別委員会の選任	
○委員会		○委員会		○委員会		○委員会	
10・16日 議会運営委員会		10・16日 議会運営委員会		10・16日 議会運営委員会		10・16日 議会運営委員会	
13日 総務文教消防委員会		13日 総務文教消防委員会		13日 総務文教消防委員会		13日 総務文教消防委員会	
14日 産業厚生建設委員会		14日 産業厚生建設委員会		14日 産業厚生建設委員会		14日 産業厚生建設委員会	
○議案の審議結果		○議案の審議結果		○議案の審議結果		○議案の審議結果	
予算（原案可決）		予算（原案可決）		予算（原案可決）		予算（原案可決）	
条例（原案可決）		条例（原案可決）		条例（原案可決）		条例（原案可決）	
その他（原案可決）		その他（原案可決）		その他（原案可決）		その他（原案可決）	
陳情（不採択）		陳情（不採択）		陳情（不採択）		陳情（不採択）	
人事情（原案可決）		人事情（原案可決）		人事情（原案可決）		人事情（原案可決）	
議員提出（原案可決）		議員提出（原案可決）		議員提出（原案可決）		議員提出（原案可決）	
議員派遣（原案可決）		議員派遣（原案可決）		議員派遣（原案可決）		議員派遣（原案可決）	
合計		合計		合計		合計	
13件		13件		13件		13件	
1件		1件		1件		1件	
2件		2件		2件		2件	
1件		1件		1件		1件	
1件		1件		1件		1件	
3件		3件		3件		3件	
4件		4件		4件		4件	
1件		1件		1件		1件	

議会を傍聴しましょう。次回の定例会は12月です。

◎県内初、 滑川市長退職金ゼロ条例案可決

◎養鶏場建設反対決議案を 全会一致で可決

9月定例会

市議会9月定例会は、9月6日から16日までの11日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成22年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案10件（追加議案1件を含む）、陳情1件、議員提出議案2件及び議員派遣の合計13件です。

審議の結果、定例会閉会中の継続審査となった議案1件を除く市長提出議案の9件は原案どおり可決、同意がなされました。陳情1件については不採択となりました。また、議員提出議案2件及び議員派遣は原案どおり可決されました。

本会議

◇9月6日に本会議を開き、まず会期を16日までの11日間と決めた後に、平成22年度一般会計補正予算をはじめとした予算・条例等の市長提出議案9件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇9日、10日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

次に、質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託すると

ともに、決算特別委員会の設置を決め、委員の選任を行いました。

◎なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

委員長	高橋久光
副委員長	野末利夫
委員	石倉正樹
委員	中島勲
委員	浦田竹昭
委員	澤谷清

◇最終日の16日には本会議を再開し、各常任委員長から、それぞれ付託議案の審査結果等の報告がありました。

次に議案第42号に対する反対討論が1名の議員からありました。分離採決の結果、議案第42号については、委員長報告のとおり賛成多数で可決されました。

第2回臨時会

また、その他の7議案は一括して採決され、いずれも委員長報告のとおり賛成全員で可決又は認定といたしました。

その後、市長から人事案件として、教育委員会の委員に石川忠志氏（北野）の任命が追加提案され、同意としました。

続いて、議員提出議案2件が提出され、提案理由説明の後に採決された。採決では、可決されました。

◇平成22年第2回市議会臨時会は、会期を8月9日の1日間と決めた後に、寺家小学校体育館耐震補強事業費の補正予算と市火葬場改修工事請負契約締結の市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。次に、質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、各常任委員長から、それぞれ付託議案の審査結果等の報告があり、委員長報告のとおり、賛成全員で可決されました。

日誌

22年8月

2日 議会運営委員会

富山地域衛生組合議会定例会

3日 第4次総合計画検討特別委員会

新川育成牧場組合議会臨時会

9日 全員協議会（定例議員協議会）

18日 日中友好富山県地方議員連盟

19日 富山地域衛生組合議会視察研修

24日 愛知県扶桑町議会より行政視察

30日 議会運営委員会

9月

2日 定例議員協議会

4日 富山県総合防災訓練

6日 9月定例会

16日 議会報編集委員会

22日 議会運営委員会

28日 産業厚生建設委員会行政視察

10月

6日 富山県市議会議長会

8日 正副議長研修会（小矢部市）

議会報編集委員会

定例議員協議会

13日 総務文教消防委員会協議会

富山地区広域圏事務組合

15日 議会報編集委員会

18日 千葉県柏市議会より行政視察

20日 秋田県にかほ市議会より

27日 決算特別委員会

28日 北信越市議会議長会評議員会

富山地区広域圏事務組合

行政視察（京都府）

代表質問

9月定例会では14名の議員が質問

を行い、49項目について市当局の見

解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおり

です。

（すべての質問等詳細を記録した会

議録は、12月中旬頃までに、市立図

書館に配布する予定です。）

また、滑川市ホームページ

の市政情報には、議会会議録検索シ

ステムが搭載されておりますので、

ご利用下さい。）

※質問者の最後の〇は、掲載外の質

問事項

代表質問



1 市長の政治姿勢について
2 住民の安全・安心について
3 教育の向上について

中島 勲 議員

Q 市長就任以来6ヶ月を
経過したが、現在の心境
は。

A 上田市長 行政とは市

民とともに考え、市民を

支えることだということ

を念頭におき、市内全域

でのタウンミーティング、

各種団体とのグループ

ミーティングを開催し意

見をいただいた。これを

整理して第4次総合計画

へ反映させたい。

Q 魚津市鹿熊地区で計画

されている養鶏場建設で

の当局の見解は。

A 上田市長 8月31日業

者による説明会が行われ

た。水道水源の目の前に

建設されることは水道水

の影響、悪臭、鳥インフ

ルエンザなどこれら懸念

すべきさまざまな問題点

がある。関係書類等の受

け付けや指導等は予定地

の魚津市が対応すること

になることから、行政区

が違関係で魚津市の対

応について（滑川市の現

況も考慮し）協力してい

ただきたいと強くお願い

をした。議員の大半が反

がら対応したい。

Q 3年生に進級したとき

にクラス減となった件数

と学校は。

A 石川教育長 クラス減

となった件数は、平成20

年度1校の寺家小学校。

22年度は2校田中小学

校、西部小学校となつて

いる。

クラス数 ○印が3年進級時にクラス減に

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	学校計
寺家	2	1	2	2	2	2	0	11
田中	2	2	①	2	2	1	2	12
東部	3	2	3	3	3	2	2	18
北加積	1	1	1	1	1	1	1	7
東加積	1	1	1	1	1	1	0	6
南部	1	1	1	2	1	1	1	8
西部	3	3	②	3	3	3	2	19
計	13	11	11	14	13	11	8	81

教育委員会資料により

一般質問



1『テレビ寺子屋』の開設に向けて 2山加積地区公民館の駐車場整備について

浦田 竹昭 議員

で鋭意検討を進めている。

Q ケーブルテレビの『テレビ寺子屋』政策課題に対し、先進地視察をされた結果の考察について問う。

A 石川教育長 学校教育・ケーブルテレビ関係者5名で、大分県は豊後高田市のテレビ寺子屋の取り組みについて、視察してきたところである。

大変ユニークな取り組みとして、学力向上にも一定の効果を上げているということで、本市でも取り入れができないかと、全員大変触発をされて帰ってきた。

Q 滑川版『テレビ寺子屋』の全体的構想について問う。

A 石川教育長 視察の成果を踏まえ、何とか来年度から実施できないかというところで、学習内容、方法等も含めて教育関係者

管である。

Q 砂利敷きの市有地は、降雨時には水溜りができて足元が悪く、冬期間の降雪積雪時は除雪が困難であり、地域住民からも公民館駐車場の舗装整備が強く望まれていることから、早急な実施について問う。

A 折田生涯学習課長 路盤舗装の必要性については十分認識しているところであり、舗装整備は来年度に事業を実施したいと考えている。

A 折田生涯学習課長 路盤舗装の必要性については十分認識しているところであり、舗装整備は来年度に事業を実施したいと考えている。



山加積地区公民館駐車場

一般質問



1本市における上水道の水源及び水質保全について 2養鶏場の建設について(魚津市鹿熊地内)

澤谷 清 議員

Q 上大浦地内における水源井戸及びそれ以外の水源井戸の現況を問う。

A 福田上下水道課長 上大浦地内には、第1、2、8の3水源井戸がある。21年度実績の1日の揚水量は、第1井戸については3700トン、第2井戸は1600トン、第8井戸は1100トン、3水源井戸を合わせると日量6400トン(ドラム缶3万2千本相当)を揚げており年間では約235万トンを使用している。市全体での使用量の比率は約47%を占めている。上大浦以外の水源井戸は9ヶ所あり、年間の揚水量は約263万トンであり、市全体での使用量の比率は約53%である。

Q 水源井戸の水質は、将来にわたり保全されるのか。また、開発可能地を買い取るべきでは。

A 福田上下水道課長 市としては、将来にわたる水質の保全については確約されておらず、今後の水質検査結果を注視していく。また市では水源及び水道施設並びに周辺の清潔保持について必要な施策を講じる責務がある。買い取りについては、現段階では開発可能地を水質保全目的に買い取るとは現実的でないと考えている。

Q 上大浦地内の水道水源井戸周辺での大規模養鶏場の建設について、本市の水源井戸への影響を問う。

A 久保副市長 この問題は非常に難しいと考えている。本市の飲料水の大半が上大浦地域で47%を占めている。第1水源(浅井戸)に限っては30%になっている。養鶏場の排水については、いろいろな懸念が払拭されない限り安心安全というわけにはいかないと思っており、おいしい滑川の水のイメージダウンにもつながると考えている。市としては一丸となってこの問題に対応していきたい。



上大浦地区第一水源井戸周辺

その他の質問事項

Q 中滑川駅前地下道について

Q 南部小学校創立30周年を迎えての周辺整備を

一般質問



1 職員採用について 2 学童保育について

岩 城 晶 巳 議員

Q 来年度の職員採用はどんな人材を欲していたのか。

A 佐藤総務部長 職種は

一般行政の10名、土木3名、消防2名の内定を行ったところで必要な人数は確保できたと考えている。少数の職員であっても住民へのサービスが低下しないよう、明るく元気な人材の育成や資質の向上に引き続き努めていく。

A 上田市長 ネームバ

リユーのある大学がいくつか出てきた年であり、将来共々滑川市に貢献してくれる人物を求めている。なかなか面接一発というわけにもいかない。最近では、採用試験のために予備校へ行っており、学科試験、面接の練習もいっぱいやっているの

その中で人物を見抜くのは大変である。そういう

努力は買わなければならぬし、職員として良い仕事をして、終わるとき満足感をもってもらいたい。面接は全部出たが、最終選考で一人も違和感なく、全員一致で良い人物が採用されたと思っている。

Q 東部小学校の学童保育は学校近くに学童保育の場を

A 上田市長 タウンミー

ティングでも大きな問題として上がっていた。子どもはやっぱり学校内で対応するのが正しいだろうと思う。放課後は学校の先生の範囲じゃないような考えそのもの、やや時代の流れはあるにしても、突っぱねるというのは好ましくない。学校

の先生方も、授業が終

わつても子どもと触れる時間をつくっていただければありがたい。東部小学校は学校の中をもう一回点検して、学校の中でできるか決定的な対応をし、少なくとも来年のうちに新しいものを建てて対応することも含めて、この問題は解決したいと思っている。早月がやつたから、各学校に全部と言われてもできない。早

月の問題は、特に遠距離

を歩いて交通事故等、お

子さんの置かれている状況が痛いほどわかるので、しっかり対応するという

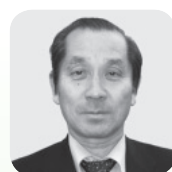
ことで回答とする。

その他の質問事項

Q 8号バイパスの4車線化工

事について
Q 安全・安心について

一般質問



1 「認定こども園」について 2 高齢者福祉の充実について

前 田 新 作 議員

Q 「認定こども園」の設置計画がなされているが、定員は何名でスタートするのか。また、保育所・園や幼稚園などへの影響

が大きいと思うが。子どもの奪い合いにならないか。

A 坪川産業民生部長 今

回は認定こども園補助金については、幼児連携型認定こども園を構成する認可保育所建設に係るもので、定員は0歳から2歳で42名である。

現在同朋学園のほうで2

歳児の受け入れが20名程度あるので、実質には20名程度の定員増となる。

A 上田市長 定数の問題と経営の問題が一面ではあるが、子どもと子ども

の親のために、保育と養

育は社会現象である。早

く勤めに行かれたお母さ

私たちの要望を満足させ

るべき体制をとっていくのが流れである。今回の同朋幼稚園が計画されたのは、国の補助が今年度で終了することでの駆け込み的な要素もある。市内の保育所・園や幼稚園への影響として、南部校下の大きな保育所については影響が必ずある。北加積幼稚園についても、影響は大きいと思っ

ている。

Q 昨年度民営化された「や

なぎはら保育園」への影響も出るのではないか。

A 上田市長 周山会さん

については、順調に経営をやっておられ、人気があるので、影響はないと思っ

ている。

Q 介護保険施設への入所希望者はどれだけいるのか。

A 山下高齢介護課長 介

護老人福祉施設、特養の入居希望申込者の調査は年2回、4月と10月に調査を実施している。今年4月の時点で157名である。また、介護老人保健施設は40名、介護療養型医療施設は25名となっている。

Q 第5期計画期間中に増床の計画をするにあつた

が、現在どうなっているのか。

A 山下高齢介護課長 要

介護認定者が増えていることから、以前から増床計画のあったカメモ荘について、第4期の計画期間である平成23年度までに32増床して、第5期計画期間の当初、平成24年

4月から利用開始出来るように進めている。

一般質問



1 株ウエーブ滑川の現況と将来像について 2 公共上水道について

石倉 正樹 議員

Q 下がり続ける利用者、減り続ける入館料に今後どのような施設運営を考えているか又その具体策は。集客できる思い切った政策をとるべきでは。

A 稲谷商工水産課長

ミュージアムでは11年度の入館者は9万5千317人、入館料は7千318万9千円が、21年度では5万9千928人、3千647万5千円と減少。委託費は17年度からは1億円前後で推移、19年度に管理施設見直し検討委員会を設置、収入増対策、経費削減策、集客方法等入館料をはじめとした管理運営全般について検討、その結果20年度から保守経費の削減、契約社員の見直し等管理費用の削減に取り組む、21年度では委託料は7千719万円となった。

今後は健康志向を高めたプログラムやヨガ等の新サービスの提供など新しい客層の掘り起こしに努める。PR方法や営業活動など柔軟に対応し、テナント各社と連携を密にし、ホタルイカを観る・食べる・買う楽しさをPRし入館者の増加を図りたい。

A 上田市長 副市長と一緒に乗り込んで担当者と相談をした。私自身営業マンとして走りたい、今後体制を立て直して頑張ることを誓う。

Q 市の観光協会をタラソピアに持ってきて観光と一元化できないか。道の駅や隣接しているはまなす公園を生かし、老若男女を問わず利用しやすい環境を作るべきでは。

A 稲谷商工水産課長 21年度から事務局を商工会議所内に移設した経緯から難しい。道の駅協議会に、ウエーブ職員が参画し、市の独自性を研究検討している。

Q 老朽化した本管の修繕計画と修繕状況は。宅地内の引き込み管に通称鉛管と呼ばれるものがあるが改善策は。

A 福田上下水道課長 今年度管路耐震化計画を策定し来年度から布設替えを実施したい。まだ鉛管が3千栓残っており、微量の鉛が溶け出る可能性があり、朝の使い始めや長時間使用しなかった鉛対策として、念のため調理や飲み水以外に使用するよう市広報に掲載してきた。今後も市広報やHPにより注意喚起や取り替えについて周知する。

一般質問



1 独居老人など高齢者の見守り体制の包括的な整備を！ 2 地方税の電子申告導入に係る滑川市の取組は？ 3 総合計画策定における財政見通しはいかに？

高木 悦子 議員

Q 滑川市における65歳以上の高齢者の独居世帯、並びに高齢者のみの世帯はどれくらいあるのか？

A 山下高齢介護課長 ひとり暮らし高齢者は1186人、高齢者のみの世帯は2289世帯である。

Q 高齢者などは第一義的には親族が見守ることが大切だが、近親者が居ない高齢世帯に対しては、行政が安否確認の「お元氣コール」を実施する等、重点的なフォロー体制を作るべきではないか？

A 山下高齢介護課長 民生委員がすべて網羅しているわけではなく、網から漏れる方をすくい上げられるベストな体制を地域住民等も含め構築しなければならぬと思う。

Q 滑川市における、電子申告導入に向けた取組、スケジュールは？また、どのサービスまでの提供を行う計画があるか？

A 宮川税務課長 電子申告の開始は12月20日を予定している。法人市民税と給与支払報告書は電子申告と電子申請を、固定資産税の償却資産は電子申告を受け付ける。電子納税については費用対効果もあり、当分の間は導入できない。

Q 第4次滑川市総合計画の基本構想案についてパブリックコメントを募集しているが、どんな事業でも財源の裏付けが無ければ絵に描いた餅になる。今後の「財政見直し」に関する参考資料の公表はしないのか？

A 小幡財政課長 今後10年間の財政見直しは、不確定要素が多く、作成も公表もしていない。

Q 市長は実質公債費比率を理由に、財政を危機的状況と判断し、実質公債費比率を全国平均まで引き下げると繰り返し言っているが、何年以内に何%まで持っていくことを計画しているのか？

A 上田市長 中屋前市長が、財源には限界があり、希望だけは無限だと言っていたのは、その通りだと思う。そんな中、財政運用を健全にするのは大変難しい。数値を示せという要求だが、今の段階では言いにくい。

Q 今後10年間の、市の財政状況について、見直しはどう立てているのか？

A 下水道が遅れていて、一番金食い虫である。計画を進めていく上で、大変な重石になっている。

一般質問



1 下水道事業について 2 児童館について 3 養鶏場建設問題について

開田 晃 江 議員

Q 公共下水道、特別環境保全下水道事業、農業集落排水事業などインフラ整備が進む中、滑川市はまだどれだけの事業を計画しているか。

A 福田上下水道課長 既認可の平成24年度まで約50ヘクタール、その後、浜早月、中、西加積地区の約272ヘクタールを特定環境保全公共下水道で整備し、上市川左岸の魚躬地区、約15ヘクタールは公共下水道で整備する。

Q 合併浄化槽で水洗化を推進し、下水道事業の整備費など二重行政になっている。平成27年度以降どのように考えているか。

A 福田上下水道課長 全県域下水道化新世紀構想の中で、大日、室山、菟輪及び山加積全域は合併浄化槽整備区域とし、そ

の他は下水道事業で整備していく。

Q どれくらい整備費か。

A 福田上下水道課長 23年以降、約115億円とみているが、受益者負担があるので、115億円の残りが45%が市の負担になる。

Q 児童館を大切な子ども達のために早急に建て替えるため、現在設置されている機関車の対応について

A 川原福祉課長 昭和41年6月に建設され44年が経過しており、児童館が老朽化して建て替えが必要となっている。改築については、今後設置予定の子ども課で検討する。その中で建設場所、施設の内容、面積など検討、構造については市有林を活用したいと考えている。機関車についても子ども課で検討する。



老朽化した児童館

Q 養鶏場建設問題について、市民生活を守るため行政として厳重な対応策をとってくれるか。

A 高辻生活環境課長 関係書類の受け付けや指導は建設予定地を管轄する魚津市が対応する。本市の意向を魚津市や県に伝え働きかけていく。

A 上田市長 迷惑という心情的なものがあり、住民の反対パワーでやめたというケースが結構ある。公害サイドから県とも相談したい。目いっぱい努力はしていく。

一般質問



1 市長の政治姿勢について 2 養鶏場建設について

森

結 議員

Q 市長は議会との関係についてどんなスタンスを持っているか。

A 上田市長 議員の議決権、議会の判断に率直に従っていく。そしてどうしても理解が得られなければ二度でも三度でも粘り強くやるが、場合によってはあつさり諦めることもある。

Q 鹿児島県阿久根市長、名古屋市長の政治手法には納得できない。自分の思いが通らなければ議会を開かない、議会をリコールするなど私に言わせればとんでもない首長だと思ふ。この事について市長の思いは。

A 上田市長 こういう質問が出るとは思いません。極端から極端であり一般的でないのであって問題にしたくはない。

Q 市長の報酬削減、退職金ゼロについては市長は財政再建、財政健全化のためと言われるが、私はそれほど深刻な状況ではないと思っている。選挙のためのパフォーマンスではなかったか。

A 上田市長 財政再建は私自身の緊張感である。議員には退職金がない。私はその延長線上にあり退職金は考えなかった。

Q 養鶏場施設建設は議会として絶対反対である。しかし担当課長発言では「私としては止めることが出来ない」と言われたが残念である。どうしても止められないのか。

A 高辻生活環境課長 私共としては何もしてこなかった訳ではない。昨年8月に住民からの情報があったが、相手方や魚津

市からは何の情報もなく今日に至り、今年8月31日に魚津市と県との合同説明会に同席し内容が判った。環境の悪化や悪臭について根拠が無いので反対できないと思った。

Q 具体的な情報（建設計画）を待っていた、情報が入ったら反対できる状況では無いでは全く情けない。議会としては反対決議、声明をし、具体的な行動もして反対する。市長の考えを聞きたい。

A 上田市長 議員の言われる通りであり、滑川市民の総意とまではいえないまでも、大勢は反対であり、豚小屋の例もあり二重重ねで不必要なのは心情的、感情的にも許せない。議会のほうも氣勢を上げて頂けるようお願いしたい。

一般質問



水野達夫 議員

- 1 小中学校における「ふるさと教育」について
- 2 こどものスポーツ競技力向上対策について
- 3 財政状況について

Q 教育長の「ふるさと教育」に対する思いは？

A 石川教育長 コミュニ

ティイが希薄化し、あるいは伝統文化が失われつつある今こそ、こどもたちに先人の方々の苦勞やその中から積み重ねられた歴史を学ばせ、伝統や文化を正しく伝えるふるさと教育は極めて重要である。今後も先人の業績紹介や伝統文化の保存・継承等をさらに進めながら、教育の中にふるさと教育を積極的に取り入れたい。

Q 滑川市にはふるさと教育を推進するためのいい教材、それを学ぶ施設もたくさんある。ふるさと教育の一環として例えば、はたらくかミュージアムをシーズン中に校外学習で利用してはどうか？

A 上田市長 身近にある

ものを有効に使い、それを学ぶことによつて郷土への愛着を高めて、一生の教育の土台、礎を作っていくかなければならないと思う。

Q 競技力向上のために、例えば中学校に派遣しているスポーツエキスパー

トをスポーツ少年団へ臨時的に派遣をしたり、エキスパートを招いての講習会を実施してはどうか？

A 折田スポーツ課長 エ

キスパート派遣による技術指導も大事ではあるが、それよりも指導者の技術向上や幼児期・少年期の体力向上に関する講習会の実施に力を入れることを検討したい。

Q 平成21年度決算において、約7億3千万円の剰

余金が発生している。地

方財政法上、半分以上は積立や繰上げ償還に充てなければならない。

不測の事態に備えてできる限り財政調整基金に積み立てたり、将来のために基金を創設することを考えてはどうか？

A 小幡財政課長 今年度

も12月定例会以降に可能な限り積み立てていきたい。また、財政調整基金の繰入金金が3億7千万円当初予算で計上されているが、この取り崩しを一部または全部やめるといふことも考えている。また、公共施設等の修繕等に備えて基金の創設等も検討している。

その他の質問事項

Q 火葬場の改修計画について

一般質問



野末利夫 議員

- 1 高齢者所在不明問題について
- 2 交通安全対策について
- 3 猛暑対策について

Q 生存が確認できない年金受給者は皆無とのこと

だが、所在不明の101名についてでも年金受給はないのか。

A 荒木市民課長 8月26

日現在、100歳以上で戸籍に記載されている人が124名おり、そのうち23名が

当市に住民票があるため生存が確認できておりません。その後、市外に住所がある者の調査を行ったところ、3名の生存を確認しており、現在は98名が所在不明となっている。

年金の受給に際しては、住民票が必要であるため、戸籍のみ生存している場合は年金を受け取ることができないものと考えている。ただし、本市に戸籍だけがあり他市町村に住民票のある方については、年金を受給している

可能性もあり、住民票のある市町村で調査が行われている。

Q 高齢者の交通事故防止策を重点に関係機関及び

関係団体と連携した運動を展開していきたいとのことだが具体策は。

A 高辻生活環境課長 8月上旬から交通安全アドバイザーと連携して、高齢者ふれあい訪問、交通安全教室等を実施している。反射たすきに標語などつけることについては、来週中にも配布したいとの考えであり、間に合えば考えて対応したい。全市民には、予算もあり、まず高齢者を対象としてやり、その状況を見て考えてい

制度の創設を。

A 上田市長 猛暑に対し

高齢者の中には、自己管理ができない方もいることから、次年度の対策とし検討したい。

Q 熱中症防止対策は。

A 石原市民健康センター所長 滑川市内の60代の女性が熱中症で亡くなられたことから、健康セン

ターでは、熱中症予防対策について防災行政無線で広報、市民に対しては日々の健康相談、介護予防教室や健康教室等の機会を通して、熱中症に罹患しないよう、予防策の啓蒙普及を行っている。

市民の皆さんも今年の体験を活かした生活の工夫もでき、啓蒙普及という面では事前の知識がかなり浸透していくのではと考えている。

Q 高齢者世帯(年金世帯)生活保護世帯に対しクーラー等の設置に対し補助

一般質問



1 都市型洪水（ゲリラ豪雨）対策について
2 新年度より発足する子ども課について
3 県内に三ヶ所ある職業訓練センターを市として強く存続を求めるべき市長の見解を問う

砂原 孝 議員

Q 局地的水害（ゲリラ豪雨）が予想される昨今、予防対策を講ずべき危険箇所は何ヶ所ほどあるか。

A 松本建設部長 危険箇所は、田中新町、田中町、河端町、また伝五郎川水系では中滑川駅周辺、晒屋地区も危険性があると考えている。

Q 対策として水田、空地等、市民、地権者の協力のもと、一時的に水を貯める仕組を全市的につくるべきと思うが。

A 松本建設部長 この対策は一河川だけで考えても効果が大きい。川には当然田んぼが隣接しており農業用水の溢水対策にもなり、町内会や生産組合、土地改良区と話をし、なるべく早いうちに、こうした形のを構築したく積極的に取組む。

Q 今日まで庁内検討委員会と議論された具体的内容を示されたい。

A 石川教育長 基本理念は、乳幼児の子育て支援や教育に小中学も含め一元化して支援育成することとし、教育委員会に設置する。メリットは(1)縦割行政の弊害の排除(2)窓口の一本化(3)発達障害児等継続的支援(4)放課後児童育成クラブ、放課後子ども教室の連携効果等いくつものメリットがある。

Q 発達障害児の対応については子ども課に持つてくるべきと思うが。

A 上田市長 健康センターが専門的にかかわる問題として、一貫してできればと思っており、人

事も含め検討対処したい。

Q 県内に三ヶ所ある職業訓練センターが今年5月全廃と地方移管の条件が示されたが、国がだめなら県が責任を持つて存続すべきと考えるが。

A 上田市長 極めて大きな問題であり、澤崎魚津市長にも電話で伺っており、富山、魚津、砺波、共に県が引受けてくれとの事であり、県がきちんとやるべきだろう。市長会はその方向で話をして

いるが、県は各市で努力いただきたいとのことであるが、各市と歩調をそろえて、私も積極的に存続に向け努めてまいりたい。

その他の質問事項

Q 市全体の児童館計画と今ある古く手狭な児童館の改築を急げ

一般質問



1 農業振興について
2 学校給食について
3 郷土芸能の伝承について

砂原 明 議員

Q 新幹線建設により発生した小面積農地の活用について

A 碓井農林課長 形状が悪く、小面積で日当りの悪い農地は、耕作不利と理解をしている。市としては、学校給食用や直売用の野菜の作付により市産市消の促進に協力をお願いし、JAアルプスや関係機関と連携し栽培指導をしたいと考えている。また、外食産業等で使用される少量多品種の野菜栽培についても講習会を検討しており、農家所得の増加につながるよう、支援をしたいと考えている。

Q 農作業中の事故防止に向けた事業を推進すべきではないか。

A 碓井農林課長 農作業

の安全については、国が9月1日に農機関連団体の会議を開催し、秋の全国農業安全確認運動の推進で連携していく方針を確認している。本市もこの運動に参加しており、ホームページに掲載している。今後、営農情報を配布するなど可能と考えられる手段を利用し、熱中症を含めた農作業中の事故防止に努めてまいりたいと考えている。

Q 週3.5回の米飯給食を完全米飯給食への実施について

A 若林教育次長 学校給食での米飯給食については、昭和61年度から週3回の米飯給食となっており、今年度より、毎週月・水・金曜日に加え、月の第1・3・5火曜日を米飯

とし、週3.5回体制にしたところであり、今後、週4回に増やすことを視野に検討していきたい。

Q 郷土芸能を伝承する強い思いの中で連合青年団OB会により開催された、盆踊り大会に参加された市長の感想は。

A 上田市長 新川古代神は昔の踊りがいい。町流しは町流しとしての新しい文化性を持っているが、本来の新川古代神は独特で良かった。来年も企画いただければ、市・行政を挙げて応援していきたい。新川古代神の元来の踊りが伝承されていくことが最も大切である。

その他の質問事項

Q 国旗、市旗の掲揚について

一般質問



1 地上デジタル放送に伴うアナログ停波について
・「テレビ難民」の発生が危惧されている
2 生産者米価低落の影響について

古沢利之議員

Q 来年7月、地上デジタ

ル放送に完全移行されると、従来のテレビは映らなくなり「テレビ難民」の発生が懸念されている。低所得層、高齢者世帯での普及率が低いと推定される。

A 杉田企画情報課長 昨

年7月の調査では市内では71・5%。現在は90%を越していると推測される。しかし、経済的な理由で対応が遅れている世帯があるのは事実である。

Q 生活保護世帯などのN

HK受信料免除世帯には簡易チューナーを1台無料支給することになっている。市内での状況はどうか。

A 杉田企画情報課長 簡

易チューナーを1台無償給付する施策の普及は指摘のとおり大変滞っている。申し込み期限を12月28日まで延長した。

る。申し込み期限を12月

28日まで延長した。

Q 総務省は新年度に、対

象を住民税非課税世帯に拡大する意向と報じられている。もつと踏み込んだ対応が必要ではないか。

A 杉田企画情報課長 残

された10ヶ月間、普及啓蒙にしっかりと取り組みたい。

Q 本年産の米価が低落し

ている。農協の概算金は「コシヒカリ」、「てんたかく」とともに、60キロ当たり昨年比で2000円ダウンしている。農家のみならず市内経済への影響も大きい。どのように見ているか。

A 碓井農林課長 市内で

は、コシヒカリが約1200ヘクタール、てんたかくが約170ヘクタール、てんこもりが約60ヘ

クタールの作付けと聞い

ている。反収8.6俵と計算

して約2億5000万円の減収となる。市内農家、

市内経済への影響は非常に大きいと考えている。

Q 全国農協中央会は政府

が過剰米を買い上げるなどの需給調整を求めている。政府は来年度から「棚上げ備蓄」をやると伝えられている。それを1年前倒しすれば価格の歯止めになる。機会を捉えて政府に需給対策を含めた対応を求めるべきだ。

A 上田市長 この問題は

今おっしゃった方向で、農協中央会、行政、議会全体で運動を展開しなければと考えている。

その他の質問事項

Q 「カシナガ」被害について

その他の質問事項

行政視察

産業厚生建設委員会行政視察報告

(9月28日～30日)

◎山梨県都留市

「クリーンエネルギーの小水力発電における設置や運営方法及びその電力の活用方法について」

地球温暖化を背景に化石燃料の大量消費により引き起こされる地球規模の環境問題に対応するため、目指すべき地域社会像のひとつに地球環境に優しいクリーンなエネルギー導入の促進及び意識啓発を図るため「都留市地域エネルギービジョン」を策定し、太陽光、水力などのエネルギーを活用した重点プロジェクトを取りまとめた。

平成18年4月運転開始の小水力発電所「元気くん1号」は、最大で20kwの発電能力を有する直径6mの木製の水車を利用した市役所を供給先とする水車方式による小水力発電所を設置した。

さらに、平成22年5月運転開始の小水力発電所「元気くん2号」は、「元気くん1号」の下流に造られ最大で19kwの発電能力を有する直径3m上掛け水車で、発電した電気は市役所や植

物栽培施設等の電力に使われ、夜間や土日等の市役所が軽負荷の時には、売電を行い、市役所庁舎の電気料(現在約1/2)と二酸化炭素排出量の削減を目指している。

◎静岡県焼津市

「駿河湾深層水体験施設(アクアスやいづ)」について

新たな産業分野における海洋深層水の利活用策として、「海洋療法施設(タラソテラピー)」の施設で、温海水プールや個室での施術・トレーニングジムやスタジオなどを備え、癒し・くつろぎやすさを提供する場として、平成18年7月に開館した。

タラソテラピーの施設である「アクアスやいづ」について料金や運営内容が利用者の支持が得られず、利用者が減少し続けたので、平成21年度に市民を中心とした「アクアスやいづ改革提言委員会」を立ち上げ、運営方法や施設のあり方について提言。

目指すべき姿は利用者の健康増進に軸足を置くことを目標に、今後施設運営を展開する。

その他の行政視察先

◎山梨県中央市

直売所甲子園2009グランドチャンピオン(道の駅)とよみ農産物直売所の運営方法

養鶏場建設反対決議案を 全会一致で可決

滑川市議会は16日の本会議で、魚津市鹿熊地内で計画されている養鶏場の建設に反対する決議案を全会一致で可決した。

なお、決議案については、次のとおりです。

魚津市鹿熊地内の養鶏場の建設に

反対する決議案

滑川市は、かねてより「美しい環境の住みよいまち」づくりを市政の基本目標にとりあげ、その実現に努めている。

魚津市鹿熊地内の養鶏場の建設予定地は、3万4千人の滑川市民が飲料水として使用している取水量の約30%を担っている第1水源地从ら早月川をはさんで非常に近い位置にある。第1水源地は伏流水を利用し、飲料水として使用していることから、養鶏場からの排水等の影響による安全性が危惧される。

また、市内の水源地は、すべて早月川水系の伏流水や深井戸水を利用しており、非常に清水であることから原水に塩素滅菌処理をするだけで飲料水として利用できるため、まろやかな水として、広く市民に愛飲されている。浄水場機能が必要としないことにより、管理費が非常に安く、県内でも黒部市に次ぐ安価な水道料金となつて市民に還元されている。

大規模な養鶏場が出来ると、世界的に人々を不安に落とし入れた鳥インフルエンザ等の恐怖が身近となり、安全で安心に暮らしていた市民生活に影響を及ぼすことが危惧される。

このような状況の中、滑川市に隣接する魚津市鹿熊地内に計画が検討されている養鶏場建設は、滑川市民に多大な不安を与えかねないものである。

よつて、本市議会は、魚津市鹿熊地内の養鶏場の建設について反対する。

以上決議する。

平成22年9月16日

滑川市議会

委員会

9月定例会の委員会の

審査から

9月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教消防委員会

審査議案は4件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、陳情1件は、不採択としました。

▼平成22年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

◆市長の退職手当の額の算定に用いる給料月額の特例に関する条例の制定について

◆滑川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

◆滑川市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

産業厚生建設委員会

審査議案は5件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

▼平成22年度滑川市一般会計補正予算（第3号）

◆滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆新たに生じた土地の確認について

◆字の区域の変更について

◆市道の路線認定について

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話475-2111

（内線372）

9月定例会での①議員提出議案、②請願・陳情、③意見書提出要請、④要望書について

件 名 及 び 提 出 者	処 理 結 果
① 議員提出議案（2件）	
1 議員提出議案第11号 歯科医療の充実を求める意見書 ……………	本会議結果＝可決
滑川市議会議員 砂 原 孝 外5名	
2 議員提出議案第12号	
魚津市鹿熊地内の養鶏場の建設に反対する決議……………	本会議結果＝可決
滑川市議会議員 中 島 勲 外13名	
② 請願・陳情（1件）	
1 子どもの貧困増大に対する市営「無料塾」（仮称）創設の陳情……………	本会議結果＝不採択
滑川市教職員組合委員長 毛 利 豊	
③ 意見書提出要請（1件）	
1 歯科医療の充実を求める意見書……………	議会運営委員会一致
富山県保険医協会長 矢 野 博 明 外1名	（議員提出議案第11号へ）
④ 要望書（2件）	
1 公共施設等における地場産木材の利用促進に関する要望……………	全議員へ参考配布
滑川市木材共同組合代表理事 八倉巻 秀 夫 外1名	
2 建築士事務所の健全な発展により建築文化の向上を図るための要望……………	全議員へ参考配布
社団法人日本建築士事務所協会連合会長 三 栖 邦 博 外1名	

9月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等	採 決 結 果
◎議案第42号（分離採決）……………	原案可決（賛成多数）
市長の退職手当の額の算定に用いる給料月額の特例に関する条例の制定について	
賛成者＝水野・原・岩城・中島・古沢・浦田・開田・澤谷・砂原・野末・森・高橋・前田	
反対者＝高木・石倉	
◎議案第41号～議案第45号及び議案第47号～議案第49号……………	原案可決（賛成全員）
平成22年度 滑川市一般会計補正予算（第3号） 外6件	
◎陳情第1号……………	不採択（賛成少数）
子どもの貧困増大に対する市営「無料塾」（仮称）創設の陳情	
賛成者＝水野・古沢	
反対者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・澤谷・砂原・野末・森・高橋・前田	
◎議案第50号……………	原案同意（賛成全員）
滑川市教育委員会の委員の任命について	
◎議員提出議案第11号……………	原案可決（賛成全員）
歯科医療の充実を求める意見書	
◎議員提出議案第12号……………	原案可決（賛成全員）
魚津市鹿熊地内の養鶏場の建設に反対する決議	
◎議員派遣について……………	原案可決（賛成全員）